

超異分野学会 豊橋フォーラム2022

ポスター発表/ブース出展者マニュアル



事前のお願い(必須)

- ①受付時にQRコードの提示が必要です。事前に確認をお願いします。(5. [当日の受付、準備・撤収および昼食について](#)をご参照ください。)
- ②来場時は、体調管理および感染対策にご協力ください。
(8. [新型コロナウイルス感染対策について](#)をご参照ください。)

日時: 2022年12月17日(土) 10:00-18:00

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

※公開後の修正点は、赤字で記入し変更履歴を最終ページに記載します。重要な修正の場合、皆様にメール連絡いたします

会場: 豊橋サイエンスコア

住所: 〒441-8113 愛知県豊橋市西幸町浜池333-9

アクセス: JR豊橋駅よりバス/タクシー25分

お車 | 「豊橋サイエンスコア」正面玄関前に100台の駐車スペース有

電車・バス | 豊橋駅より豊鉄バス約30分

この度は本学会趣旨に賛同頂き、ポスター発表あるいはブース出展にご参加いただくこと、誠に有り難うございます。本マニュアルをご確認頂き、円滑な進行にご協力頂きますようお願い申し上げます。

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

<目次>

[1. 開催概要](#)

[1.1 学会概要](#)

[1.2 会場へのアクセス](#)

[1.3 運営団体](#)

[2. 会場図](#)

[2.1 全体マップ](#)

[2.2 ポスター会場](#)

[2.3 発表番号](#)

[3. 企画スケジュール詳細](#)

[3.1 タイムスケジュール](#)

[4. ポスター・ブース発表](#)

[4.1 展示概要](#)

[4.2 テクノロジースプラッシュについて](#)

[5. 当日の受付、準備・撤収および昼食について](#)

[6. 各賞の設置について](#)

[6.1 ポスター・ブース発表 対象](#)

[6.2 表彰式](#)

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

[7. 資材等の搬入・搬出および事前送付](#)

[7.1 前日及び当日開場前の搬入を希望される方](#)

[7.2 会場への事前送付を希望される方](#)

[7.3 事後発送について](#)

[8. 新型コロナウイルス感染対策について](#)

[9. その他、特記事項](#)

[10. 変更履歴](#)

<問い合わせ先> 超異分野学会豊橋フォーラム運営事務局

前日まで: 株式会社リバネス TEL: 03-5227-4198 MAIL: hic@Lnest.jp

当日: 内山 050-1746-0983- or 塚越 050-1749-7071

1. 開催概要

1.1 学会概要

●超異分野学会 豊橋フォーラム2022

日時: 2022年12月17日(土) 10:00-18:00

会場: 豊橋サイエンスコア

住所: 〒441-8113 愛知県豊橋市西幸町浜池333-9

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

1.2 会場へのアクセス

豊橋サイエンスコアへのアクセス詳細は、以下URLをご参照ください。

<https://www.tsc.jp/access/>

●JR豊橋駅よりバス/タクシー25分

お車 | 「豊橋サイエンスコア」正面玄関前に100台の駐車スペース有。

駐車スペースが不足した場合は、近隣の駐車場をご案内する場合があります

電車・バス | 豊橋駅より豊鉄バス約30分

[バス経路詳細]

①豊橋駅前4番線のりばから豊鉄バス 天伯団地線に乗車し「サイエンスコア入口」下車、目の前、徒歩3分。

- 往路 | 9:02「豊橋駅」発→9:25「サイエンスコア入口」着→バス停から徒歩3分
- 復路 | 会場から徒歩3分→17:52「サイエンスコア入口」発→18:17「豊橋駅」着

②豊橋駅前2番線のりばから豊鉄バス 豊橋技科大線に乗車し「浜道」下車、東へ徒歩で約10分(約1km)

- 往路 | 9:15「豊橋駅」発→9:35「浜道」着→バス停から徒歩10分
- 復路 | 会場から徒歩10分→18:05発→18:35「豊橋駅」着

1.3 運営団体

共同主催：株式会社サイエンス・クリエイト(豊橋市補助事業)、株式会社リバネス、東三河スタートアップ推進協議会

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

※公開後の修正点は、赤字で記入し変更履歴を最終ページに記載します。重要な修正の場合、皆様にメール連絡いたします

パートナー: サーラグループ、西島株式会社、株式会社ユーグレナ

以上のパートナーの方々は学会当日も来場いたします。連携について積極的に議論ください。

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

2. 会場図

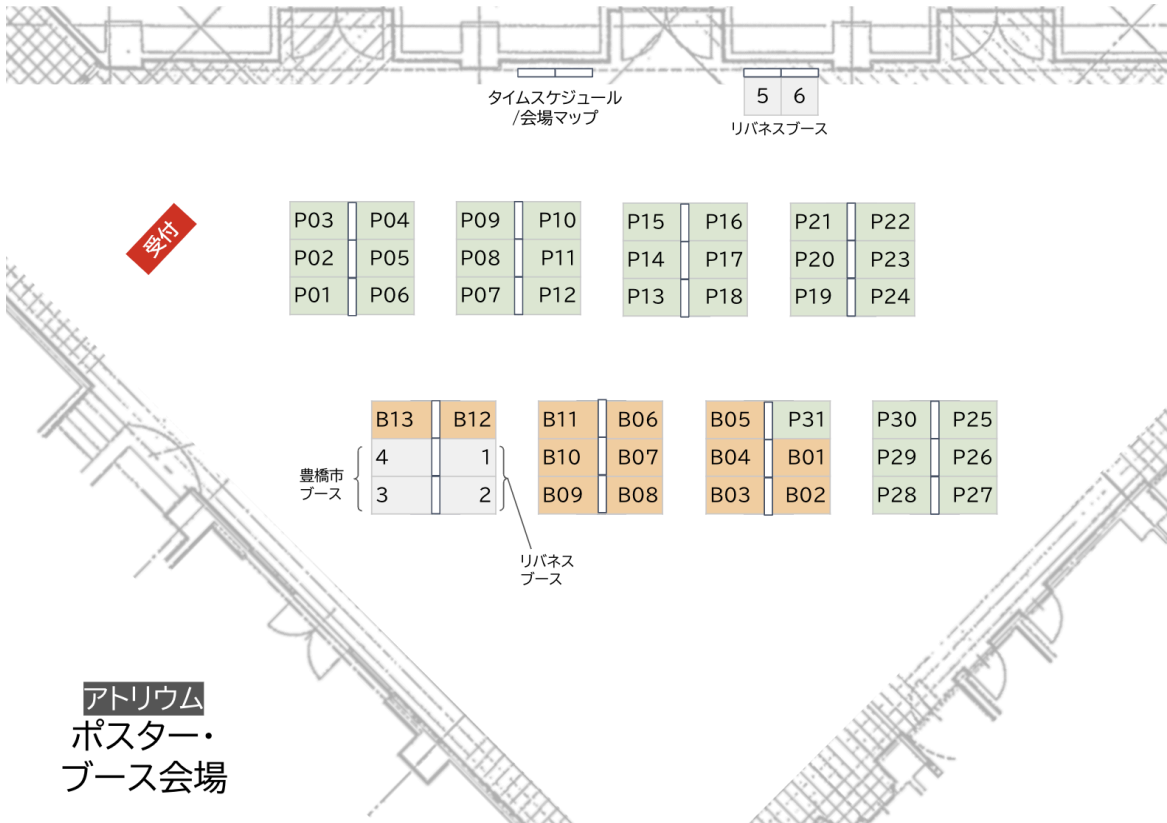
2.1 全体マップ



No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

※公開後の修正点は、赤字で記入し変更履歴を最終ページに記載します。重要な修正の場合、皆様にメール連絡いたします

2.2 ポスター会場



2.3 発表番号

P:研究発表ポスター

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

※公開後の修正点は、赤字で記入し変更履歴を最終ページに記載します。重要な修正の場合、皆様にメール連絡いたします

P14	再生修復機能を有する抗ウイルス機能材料の研究開発	上條 利夫	独立行政法人国立高等専門学校機構 鶴岡工業高等専門学校	

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可変性に着目した計測器と訓練デバイスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研究所, 聖隷クリストファー大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用した農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電気を生み出す「牛の胃の微生物を使用した 再生可能メタン発酵システム」	馬場保徳	石川県立大学	○

※公開後の修正点は、赤字で記入し変更履歴を最終ページに記載します。重要な修正の場合、皆様にメール連絡いたします

P15	多孔体・電気流体力学による先進熱輸送技術	西川原 理仁	国立大学法人豊橋技術科学大学	
P16	柔軟支柱ガントリーにおける制振制御による入力成形と 付加装置による高速制振搬送	山本祐一郎	株式会社ワイエムジー	
P17	X線イメージセンサによる配管肉厚の直接的測定	小池 昭史	株式会社ANSeeN	
P18	AIによる不良品検査の撮像課題を解決:光学技術を応用した撮像技術の提供	藤井琢也	合同会社OptTech	○
P19	吸い込み消火法の実用化	中村 祐二	豊橋技術科学大学	○
P20	衛星データ解析プラットフォーム「Solafune」	上地練	Solafune, Inc.	
P21	豊橋市まちなかにおけるゼミ活動を通じた地理学研究の実践	駒木 伸比古	愛知大学	○
P22	災害支援のための画像処理技術	金澤 靖	豊橋技術科学大学	○
P23	ニューノーマル時代の地域自治デザインー自治会DX社会実験を通じて	小野悠	豊橋技術科学大学	

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可変性に着目した計測器と訓練デバイスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研究所, 聖隷クリストファー大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用した農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電気を生み出す「牛の胃の微生物を使用した 再生可能メタン発酵システム」	馬場保徳	石川県立大学	○

※公開後の修正点は、赤字で記入し変更履歴を最終ページに記載します。重要な修正の場合、皆様にメール連絡いたします

P24	RTK-GNSSを用いる屋外滞留行動追跡に向けた精度検証	水野有華	豊橋技術科学大学大学院	
P25	三次元重心検知理論に基づく横転防止最速自動コーナリング	小野寺望鈴	東京海洋大学	○
P26	スマートシティを想定した自律型モビリティに対するヒトの回避・物体運搬特性	田村 秀希	豊橋技術科学大学	○
P27	スケッチインターフェースとデジタルファブリケーションを利用した椅子のデザイン/ビルド	水谷 晃啓	豊橋技術科学大学大学院	
P28	微生物との共生でデザインする持続可能で健康な空間づくり	伊藤光平	株式会社BIOTA	○
P29	観葉植物による室内空気浄化	松本 博	株式会社プラネット	○
P30	カメラ画像を用いたオフィス内アクティビティ可視化アルゴリズム	李天文	東京農工大学	
P31	ウェアラブルセンサを用いた行動認識技術とその応用	大村 廉	豊橋技術科学大学	

B:事業紹介ブース

B01	サーラグループの事業紹介	黒台 泰弘	株式会社サーラコーポ	
-----	--------------	-------	------------	--

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可変性に着目した計測器と訓練デバイスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研究所, 聖隷クリストファー大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用した農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電気を生み出す「牛の胃の微生物を使用した 再生可能メタン発酵システム」	馬場保徳	石川県立大学	○

※公開後の修正点は、赤字で記入し変更履歴を最終ページに記載します。重要な修正の場合、皆様にメール連絡いたします

			レーション	
B02	毛髪を用いた中長期的なストレスの評価	五十棲 計	株式会社イヴケア	○
B03	農業と畜産を持続可能にするための地域バイオマスの活用法	向真樹	(株)花ごころ	○
B04	新しい地域の魅力に出会える、食文化の定期便「そのとちぎふと」	松浦克彦	株式会社picks design	○
B05	GISで社会を豊かに	澤田 貴行	株式会社マップクエスト	
B06	リモートセンシングデータを活用した森林の二酸化炭素吸収量の推定	長田大輝	株式会社Archeda	○
B07	ゴーストカラーを可視化するハイパースペクトル解析プラットフォーム『ANSWER』	藤井富実矢	Milk.株式会社	○
B08	異業種における新規事業への挑戦 -トマトの収穫量予測に関する製品開発-	荻島英樹	矢崎総業株式会社	
B09	サーフェス形状探索サービスのご紹介	高橋 鷹山	株式会社OUTSENSE	○
B10	研究開発を超加速する「Garage	土場 義浩	サンケイエンジニアリング	

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可変性に着目した計測器と訓練デバイスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研究所, 聖隷クリストファー大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用した農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電気を生み出す「牛の胃の微生物を使用した 再生可能メタン発酵システム」	馬場保徳	石川県立大学	○

※公開後の修正点は、赤字で記入し変更履歴を最終ページに記載します。重要な修正の場合、皆様にメール連絡いたします

	Ota」		株式会社	
B11	高専生の新たな登竜門「リバネス高専チャレンジ」始動。企業課題を高専生と共に解決	内山 啓文	株式会社リバネス	
B12	リアルな場のコミュニケーションを見える化する Bamiel	水本 武志	ハイラブル株式会社	
B13	A-STEP実装支援(返済型)～ベンチャー企業等を対象にした返済前提の開発費支援～	大下内 和也	国立研究開発法人科学技術振興機構	

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可変性に着目した計測器と訓練デバイスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研究所, 聖隷クリストファー大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用した農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電気を生み出す「牛の胃の微生物を使用した 再生可能メタン発酵システム」	馬場保徳	石川県立大学	○

3. 企画スケジュール詳細

3.1 タイムスケジュール

詳細はフォーラムウェブサイトをご確認ください。

[超異分野学会 豊橋フォーラム2022 | 超異分野学会 Hyper Interdisciplinary Conference](#)

	メイン会場: ホール	ポスター・ブース会場: アトリウム
10:00	開会式	—
10:20	研究者・ベンチャーによるショートピッチ 「 <u>テクノロジースブラッシュ</u> 」	—
11:00	—	<u>ポスター&ブース コアタイム</u>
12:00	昼休憩	
13:00	基調講演 <u>異分野融合で切り拓くスマートセンサの社会実装のかたち</u>	ポスター&ブース 展示
13:30	セッション1 <u>事業継承をきっかけとした製造業のトランスフォーメーション</u>	
14:20	移動・休憩	
14:40	セッション2 <u>太陽・大地・藻類で作るサステナブル産業</u>	
15:30	移動・休憩	

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース ブラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

※公開後の修正点は、赤字で記入し変更履歴を最終ページに記載します。重要な修正の場合、皆様にメール連絡いたします

15:50	セッション3 くらしと住まいの快適さを追求するー微生物との共生でデザインする空間設計ー	
16:40	移動・休憩	ー
17:00	閉会式	ー
17:20-18:00	ー	交流会

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

4. ポスター・ブース発表

4.1 展示概要

●概要

【展示時間】以下の時間は展示をお願いします

10:00-18:00(受付開始時刻の9:30から掲示可能です)

※片付けは18:30までに完了をお願いします。

【コアタイム】以下の時間はポスター・ブース前でご対応をお願いします

11:00-11:30 奇数番

11:30-12:00 偶数番

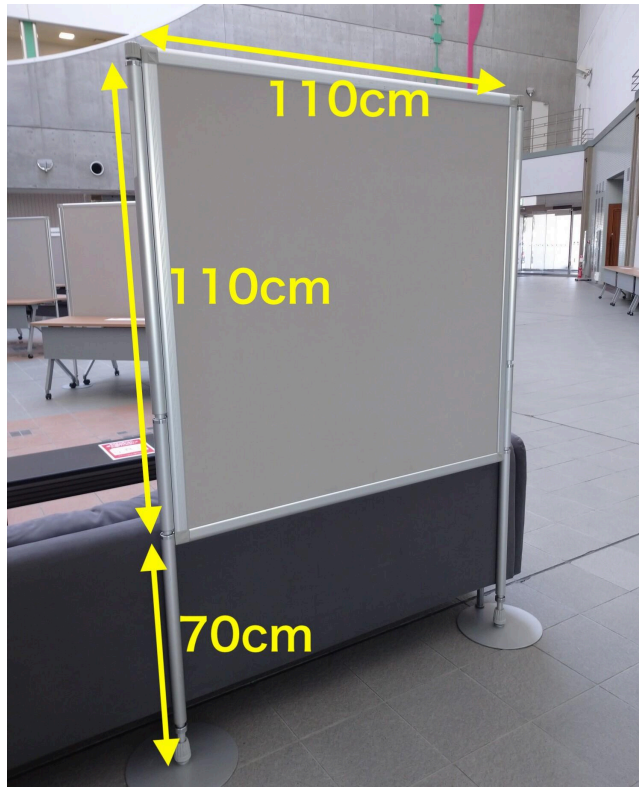
なお、ポスター会場は原則として、会期中終日オープンしております。随時ディスカッションにご活用ください。

●仕様

- パネル:幅 110cm、高さ110cm(+パネル脚の高さ 70cm)
幅20×高さ10cm程度の番号(ポスター発表の場合)もしくは、幅80cm×高さ10cm程度の番号・企業名(ブース出展の場合)を事務局にてパネル上部に掲示します。

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

※公開後の修正点は、赤字で記入し変更履歴を最終ページに記載します。重要な修正の場合、皆様にメール連絡いたします



＜登録時に展示物「有」の申請をいただいた場合＞

- 机:幅110～180cm、高さ72cm、奥行き60cm

※写真のように、長机を複数ブースで共用いただく場合があります

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

※公開後の修正点は、赤字で記入し変更履歴を最終ページに記載します。重要な修正の場合、皆様にメール連絡いたします



※パネルから大きくはみ出さない限り、サイズや形式に指定はありません。

(参考:A0サイズ 84.1cm × 118.9cm)

※掲示に使用できる画鋏は事務局で準備いたします。

●注意

※ポスター・ブースについて、事務局側による掲示・設置の代行はしておりません。

※荷物や貴重品の管理は各自で責任をもって行ってください。

●ポスター番号一覧・ブース番号一覧

ご自身の発表番号はオンライン要旨集をご確認ください。

[→オンライン要旨集はこちら](#) (12/5(月)公開)

- 演題の確認は一覧ページもしくは検索欄よりキーワード入力による検索を行ってください。
- 検索欄で「ポスター」「ブース」いずれかを選

		名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
		柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

択。申請テーマ、氏名、所属に関するキーワードで検索が可能です。

●参加辞退を希望される方へ

やむを得ない理由でご辞退を希望される方は事務局あてにご連絡をお願いいたします。

なお、恐れ入りますが制作準備の関係上、要旨集や当日パンフレット等に演題名の掲載が残ることをご了承ください。

4.2 テクノロジースプラッシュについて

●テクノロジースプラッシュとは

アカデミアと企業の研究者が仲間となり新しい研究開発を推進するためには、お互いが持つ課題意識(Question)と課題解決への情熱(Passion)を伝える・知るといった相互インタラクションが非常に重要となります。

本セッションでは、「サイエンスとテクノロジーをわかりやすく伝える」をコンセプトに、90秒間で自身の研究・事業内容を発表する超異分野ピッチを実施します。

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジースプラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可変性に着目した計測器と訓練デバイスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研究所, 聖隷クリストファー大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用した農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電気を生み出す「牛の胃の微生物を使用した 再生可能メタン発酵システム」	馬場保徳	石川県立大学	○

※公開後の修正点は、赤字で記入し変更履歴を最終ページに記載します。重要な修正の場合、皆様にメール連絡いたします

●実施概要

時間: 10:20～11:00

会場: メイン会場(ホール)

対象: ポスター発表者およびブース出展者のうち希望者

発表順:

No.	テーマ	氏名	所属機関	ポスター/ブース 発表No.
01	トマトの収穫量予測システムの構築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	P02
02	健康と食の安全を守るAll-in-One遺伝子 検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	P03
03	タンパク質構造解析技術を活用した農薬 開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイン・スタジオ	P04
04	雑草や食品ゴミから都市ガスと電気を生 み出す「牛の胃の微生物を使用した 再生 可能メタン発酵システム」	馬場保徳	石川県立大学	P05
05	石油を合成する特異なハプト藻Dicroteria rotundaの生理機能解析	谷井智春	豊橋技術科学大学大学院	P07
06	高専生のキャリア教育の実情とその変容 に向けたKOSEN Laboの取り組み	前川啓一郎	豊橋技術科学大学	P12
07	プラズマプロセスを用いたナノ薄膜の機 能性創出	針谷 達	豊橋技術科学大学	P13

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農薬開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

※公開後の修正点は、赤字で記入し変更履歴を最終ページに記載します。重要な修正の場合、皆様にメール連絡いたします

08	AIによる不良品検査の撮像課題を解決： 光学技術を応用した撮像技術の提供	藤井琢也	合同会社OptTech	P18
09	吸い込み消火法の実用化	中村 祐二	豊橋技術科学大学	P19
10	豊橋市まちなかにおけるゼミ活動を通じ た地理学研究の実践	駒木 伸比古	愛知大学	P21
11	災害支援のための画像処理技術	金澤 靖	豊橋技術科学大学	P22
12	三次元重心検知理論に基づく横転防止 最速自動コーナリング	小野寺望鈴	東京海洋大学	P25
13	スマートシティを想定した自律型モビリ ティに対するヒトの回避・物体運搬特性	田村 秀希	豊橋技術科学大学	P26
14	微生物との共生でデザインする持続可能 で健康な空間づくり	伊藤光平	株式会社BIOTA	P28
15	観葉植物による室内空気浄化	松本 博	株式会社ブラネット	P29
16	毛髪を用いた中長期的なストレスの評価	五十棲 計	株式会社イヴケア	B02
17	農業と畜産を持続可能にするための地域 バイオマスの活用法	向真樹	(株)花ごころ	B03
18	新しい地域の魅力に出会える、食文化の 定期便「そのとちぎふと」	松浦克彦	株式会社picks design	B04
19	リモートセンシングデータを活用した森林 の二酸化炭素吸収量の推定	長田大輝	株式会社Archeda	B06
20	ゴーストカラーを可視化するハイパースペ	藤井富実矢	Milk.株式会社	B07

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

※公開後の修正点は、赤字で記入し変更履歴を最終ページに記載します。重要な修正の場合、皆様にメール連絡いたします

	クトル解析プラットフォーム『ANSWER』			
21	サーフェス形状探索サービスのご紹介	高橋 鷹山	株式会社OUTSENSE	B09

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

●集合時間

テクノロジースプラッシュ発表者の皆様は、当日9:40にメイン会場（ホール）前方ステージ付近に集合してください。事前の進行と動きを説明いたしますのでご参加ください。

●当日の緊急連絡先

リバネス 内山 050-1746-0983 または 塚越 050-1749-7071

◎参加される方は、下記の通り事前にスライドデータをお送りください。

・提出先: https://id.lne.st/project/hic_slide_submission/regist/basic_info/1

※リバネスIDへのログインが必要です

・スライド枚数: 1枚(所属の紹介は司会から読み上げますのでご準備不要です)

・発表時間 : 90秒

・データ形式 : PDF(動画、アニメーション、音声不可)

・ファイル名 : スプラッシュ発表番号_氏名(例: 05_齊藤)

・アスペクト比: 4:3

・提出締め切り: 12月14日(水)正午12:00まで

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

5. 当日の受付、準備・撤収および昼食について

当日の受付では、ポスターブース発表者向けに発行されるQRコードの読み取りを行います。事前に印刷をするか、もしくは受付時にスマホでご掲示ください。

●QRコードの掲示方法

①メールから

1. 下記の件名のメールをご確認ください

※12月9日(金)以降にポスターブース発表者宛に送信されます

件名:【LNestID】Ticket内容のご確認



No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

※公開後の修正点は、赤字で記入し変更履歴を最終ページに記載します。重要な修正の場合、皆様にメール連絡いたします

②リバネスIDから ※12月9日(金)以降にご確認可能です

1. リバネスIDログインページへアクセス

URL: <https://id.lne.st/login?p=%2F&type=login>

2. ログイン後、トップページにある「過去の申込一覧はこちら」から購入(申込)済みチケット一覧を確認する。



3. 過去の申込一覧から参加するイベントのチケット(※超異分野学会〇〇フォーラム演題登録研究発表(ポスター発表)、または事業紹介(ブース出展))を選択する。

4. Ticket情報にある「チェックイン用QRコード」を受付で提示する。あるいは事前に印刷した紙面を持参する。

※共同研究者として登録された方で当日来場をご希望の方は、大会WEBサイトより聴講チケットを取得ください。 → <https://hic.lne.st/conference/toyohashi2022/>

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

●受付時間等

入場開始可能時間	12月17日(土)9:30～ ※受付は建物の1Fとなります。建物入り口から奥にお進みください。
ポスター/ブース 掲示	12月17日(土)9:30～10:00、10:55～11:00 ※10:00よりメイン会場で開会式を行います。開会式前の10:00まで、または、テクノロジーสプラッシュ終了後の10:55～11:00に、ポスター・ブース掲示をお済ませください。
昼食時間	12月17日(土)12:00～13:00 ※昼休憩時間中に限り、会場内でのお食事は可能です。感染対策のため、黙食でのお食事にご協力ください。 ※昼食については、下記のご案内も参照ください。
ポスター/ブース 機材撤去	12月17日(土)18:30までに撤去をお願いいたします

●昼食について

- 昼休憩時間中に限り、会場内でのお食事が可能です。
 - ご自身でご持参いただくほか、近隣には徒歩5分程度の距離にファミリーマートがございます。
 - 会場内でお弁当の販売も行います。お弁当購入を希望する方を対象に、当日朝に整理券の配布(または予約受付)を行う予定です。数に限りがありますので、あらかじめご了承ください。
- 下記の昼食マップを参考に、近隣の飲食店舗もご利用ください。

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジーส プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可変性に着目した計測器と訓練デバイスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研究所, 聖隷クリストファー大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用した農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電気を生み出す「牛の胃の微生物を使用した 再生可能メタン発酵システム」	馬場保徳	石川県立大学	○

※公開後の修正点は、赤字で記入し変更履歴を最終ページに記載します。重要な修正の場合、皆様にメール連絡いたします

昼食マップ



6. 各賞の設置について

本大会では、ポスター・ブース発表者に対して特別賞を設置しております。

6.1 ポスター・ブース発表 対象

以下の賞を設置しています。

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

- **超異分野学会豊橋フォーラム賞**: 株式会社リバネスが選定
- **サイエンス・クリエイト賞**: 株式会社サイエンス・クリエイトが選定

この他、パートナー企業選定による企業賞が設置される可能性があります。

6.2 表彰式

閉会式(17:00～)にて、各賞の受賞者を表彰いたします。

7. 資材等の搬入・搬出および事前送付

原則、開催当日に各自ご持参をお願いいたします。

事前の搬入・送付を希望される方は、事務局側での把握のため、必ず[WEBフォーム](#)より事前申請のうえ、搬入・送付ください。

7.1 前日及び当日開場前の搬入を希望される方

[WEBフォーム](#)より12月13日(火)18:00までにご申請ください。

以下ご確認ください。

前日搬入可能時間	2022年12月16日(金)15:00～17:00
当日開場前搬入可能時間	2022年12月17日(土)9:00～9:30

※お車で搬入される場合、会場敷地内の駐車場が利用可能です。

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

7.2 会場への事前送付を希望される方

[WEBフォーム](#)より12月13日(火)18:00までにご申請ください。

以下の日時指定で配送手配をお願いします。

到着日時	2022年12月16日(金)午前中 必着 ※必ず時間指定をお願いいたします。保管場所の都合上、これより前の時間で配送は禁止とさせていただきます。
送付先	〒441-8113 愛知県豊橋市西幸町字浜池333-9 豊橋サイエンスコア 事務所 勝間様宛 TEL 0532-44-1111
品名欄に記入 ください	・「12/17超異分野学会資材 [ポスターorブース番号] [〇/〇]個口」 (〇/〇は、個数番号/合計個数としてご記入下さい) ・発送元情報より参加者・所属先の判別がつかない場合は、品名欄に参加者・所属先名もご記入下さい。

7.3 事後発送について

ヤマト便のみ、**着払い**で受付が可能です。

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

※公開後の修正点は、赤字で記入し変更履歴を最終ページに記載します。重要な修正の場合、皆様にメール連絡いたします

上限サイズ	ヤマト宅急便で発送可能なサイズを上限とさせていただきます。 縦・横・高さの合計が200cm以内、かつ重さが30kg以内となります。 ※1辺の長さは170cmまで、上下逆さまにできないなど輸送状態に定めがある荷物は1 辺の長さが100cmまでです。
伝票・集荷	着払伝票については受付にて用意しております。 荷物に着払伝票を貼付後、受付にお預けください。
発送日	12月19日(月)以降となります。

8. 新型コロナウイルス感染対策について

本大会実施にあたっては、以下の感染対策を行っております。

詳細: <https://hic.lne.st/2022/11/20495/>

＜感染症対策方針＞(2022年12月1日 現在)

開催当日は、新型コロナウイルス感染症対策に関する基本方針についての見解に基づき、会場での対応および来場者への呼びかけをいたします。

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

現時点で予定している対策は以下の通りです。

- アルコール消毒液の設置
- 非接触体温計による入場者の体温測定を実施(37.5度以上の場合、入場をお断りする場合がございます)
- 注意喚起文の設置
- 咳エチケットとこまめな手洗い・手指消毒を推奨する張り紙を設置
- 会場内でのマスクの着用の励行
- 定期的な会場の換気
- 密集の回避・身体的距離の確保
- 飲食の制限(食事を摂られる際には黙食にご協力をお願いします)
- 参加者の把握

来場者におかれましては、次の事項を守ってくださいますようお願い申し上げます。

- マスクの着用と大声を出さないこと
- 咳エチケットとこまめな手洗い、アルコール消毒液による手指消毒の実施

※アルコールにアレルギー等をお持ちの方はご注意ください。

※「大声」とは、(ア)通常よりも大きな声量で、(イ)反復・継続的に声を発することを指します。

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

- イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

以下に該当する方は来場をご遠慮ください。

- 37.5 度以上の発熱がある方
- 咳・咽頭痛等の症状が認められる方
- その他、感染の疑いの不安がある方

追加の感染予防対策や今後の政府発表などにもなう対応の更新があった場合には、運営事務局で決定次第速やかに本ウェブサイト上にてご案内いたします。

9. その他、特記事項

- 名刺交換について
 - ✓ 名刺交換はご自由に行って頂いて構いません。
-
- ゴミの廃棄について
 - ✓ お持ち帰りにご協力ください。
- 緊急時の対応について
 - ✓ 自然災害等の緊急時には、運営側と会場との協力のもと、参加者の避難を誘導いたします。必ずスタッフの指示に従いますようお願い申し上げます。
- メディア取材の受入及び各種広報媒体への露出について
 - ✓ イベント当日は、各種メディアが入る可能性があり、それらにおいて取材、撮影を制限

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○

せずに外部に公開する予定をしております。取材等に問題のある方は、取材を受ける前に必ず断るようになさってください。

その他、ご不明な点は事務局ならびにスタッフまでお問い合わせ下さい。

問い合わせ先: 超異分野学会運営事務局

前日まで TEL 03-5227-4198 MAIL hic@lnest.jp

当日 TEL 内山 050-1746-0983- or 塚越 050-1749-7071

10. 変更履歴

- 2022/12/1 公開しました
- 2022/12/5 オンライン要旨集の公開URLを記載しました
- 2022/12/8 QRコードチケットの送付タイミングが12月9日(金)以降に変更となりました

No	演題/テーマ名	名前	所属	テクノロジース プラッシュ登壇
P01	摂食嚥下時の口腔運動随意的可 変性に着目した計測器と訓練デバ イスの開発	柴本 勇	食とコミュニケーション研 究所, 聖隷クリストファー 大学	
P02	トマトの収穫量予測システムの構 築	勝又勇紀	沼津工業高等専門学校 専攻科	○
P03	健康と食の安全を守るAll-in-One 遺伝子検査システム	柴田 隆行	豊橋技術科学大学	○
P04	タンパク質構造解析技術を活用し た農業開発	西ヶ谷 有輝	株式会社アグロデザイ ン・スタジオ	○
P05	雑草や食品ゴミから都市ガスと電 気を生み出す「牛の胃の微生物を 使用した 再生可能メタン発酵シス テム」	馬場保徳	石川県立大学	○